

株式会社テスコ

平成 28 年度 環境行動計画

1. 環境保全活動への取組みについての現状把握と課題

(グリーン経営推進チェックリストに基づく現状把握と今後の課題)

(1) 環境保全のための仕組み・体制の整備

環境方針を策定し、環境保全管理者及び推進体制を定め、従業員に対して環境関連法規制の内容を伝えるなどしている(レベル1)。しかし、まだ根付いていない。

(2) エコドライブの実施

認証項目以外の取組みができていない。また、車両毎の適正な燃費基準が把握できていない。

(3) 低公害車の導入

大型車が中心なのでCNG車、ハイブリッド車の導入は難しいが、最新規制適合ディーゼル車導入を計画的に実施し、代替時には燃費基準達成車、低排出ガス認定車を選択するようにしている。

(4) 自動車の点検・整備

おおむね各項目ともレベル2の取組みは実施している。

(5) 廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進

廃棄物処理は適正に実施している。従業員への廃棄物に関する教育も実施している。

(6) 管理部門(事務所)における環境保全の推進

管理部門従業員に対する環境教育は現場従業員とともに実施し、レベル1の取り組みはできている。

2. 目標

(1) 環境教育の推進

(2) 燃費向上：対前年1%向上

(3) 事務所での環境保全の推進

3. 目標達成に向けた具体的な取組み内容

(1) 「環境教育の推進」に向けた具体的な取組み

環境に関する一般的情報（環境問題の世界の現状など）や燃費実績等について、掲示物や教育会を利用し継続的に情報提供、教育を行う。

(2) 「燃費向上 対前年1%」に向けた具体的な取組み

- ・月次実績の公表、個別指導の実施
目標達成率毎に個別指導を実施する。
- ・アイドリングストップの徹底
- ・エコドライブ講習会を開催する。

(3) 「事務所での環境保全の推進」に向けた具体的な取組み

- ・不要な電気はこまめに消灯する。
- ・空調の使用を控える。
- ・空調機器は設定温度を夏期28℃以上、冬季20℃以下を基準とする。
- ・物品購入の際は、エコマーク・グリーンマーク製品購入を推進する

平成28年 3月 1日
株式会社テスコ
代表取締役会長 方喰 功
環境保全責任者
代表取締役社長 方喰 理将